質問回答

2015 年 10 月 26 日

「タイ国バンコクーチェンマイ高速鉄道整備事業準備調査」

（公示日：2015 年 10 月 14 日／公示番号：150869）について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P. 3, 5 – (3) バンコク～バンパチ間は・・・路線を共用する可能性があり・・・日タイ間で調整中である。 および P. 6, 6 –(8)高速鉄道システムの検討	今回調査は、「新幹線専用線」の検討のみで宜しいでしょうか？ （例えば、ARL ルートの転用、あるいは共用となれば検討事項が大幅に増加するので、この場合は別途協議事項としていただきたい。）	原則として「新幹線共用線」のみの検討とします。また、線路共用した場合に生じる問題点の整理及びそれら問題点の解決に必要な検討項目や必要なスケジュールについての提案をお願いします。
2	P. 4, 5 – (6) （および P.12 中段） ステージ 2 については、タイ側で閣議承認が行われたことを確認した後・・・	配布資料①討議議事録では “ 両国政府の合意形成 ” との記述であるが、ステージ 2 へ進むためには、閣議決定が必要なのでしょうか？ また、タイ側も “ 閣議決定 ” するという理解なのでしょうか？	「閣議決定」に代え、「両国政府が何らかの形で合意すればステージ 2 へ進める」に修正します。
3	P.4, 5 – (7) （および P. 7 6 –(7)） 事業スキーム等に対する本邦企業側の意見・・・情報提供の場は、JICA が設定する。	本邦企業側との意見交換会（情報の共有化）については、いつ頃を予定されているのでしょうか？ また、本邦企業の選定およびアポイントメント取りは、JICA 様で行うという理解で宜しいでしょうか？	具体的なスケジュールは決定しておりませんが、調査開始時の 2015 年 12 月～2016 年 1 月頃を第 1 回目として想定しています。 本邦企業の選定およびアポイントメント取りは、JICA で行います。

通番号	当該頁項目	質問	回答
4	P. 5, 5 – (12) 日タイワーキンググループ	タイ側は、需要予測値を大きく見込んでいることから、民間（資金）の活用が可能であると考えている傾向にある。IT/R 提出時（ステージ1最終）にタイ側と合意に至らない場合、Phase1 - ステージ 1 調査活動は完了とみなして頂けますでしょうか？	ご理解の通り、IT/R 提出時（ステージ1最終）にタイ側と合意に至らない場合、Phase1 - ステージ 1 調査活動は完了とみなします。
5	P. 6, 6 – (3) ② 予備的代替案の検討及び最適案の選定	代替案の比較をタイ側 F/S で示されている Ridership や EIA についても評価することになれば、大規模な調査が必要となります。 予備的代替案については、どの程度の規模感の検討を想定されていますでしょうか？	環境社会配慮のスコーピング段階において、最適交通モードの選定、代替ルート案の比較検討を行い、選定された最適案について検討を深度化してください。
6	P. 6, 6 – (4) および P. 14, (7) ステージ 1：沿線開発ポテンシャルの調査、 ステージ 2：駅前・駅周辺開発計画	ステージ 1：“ 沿線開発・不動産開発のビジネスモデルの提示及びその収益性を加味した経済・財務分析 ” ⇒明確な地域計画が無い状況下、収益性を加味した経済・財務分析を行うことは、膨大かつ非常に労力と時間のかかる調査と思われます。 ステージ 2：“ 高速鉄道の各駅の開発計画の提案 “ ⇒こちらも膨大かつ非常に労力と時間のかかる調査と思われます。 上記について、どの業務従事者を想定されていますか？ また、規模感と内容について、ご教示頂けますでしょうか？ 代表的な地域・駅においてケーススタディを行う程度と考えて宜しいでしょうか？	業務従事者としては、5）都市・地域開発、8）経済・財務分析、9）事業スキーム等を想定しています。 ドンムアン（除く）以北の全ての駅について、駅前広場・交通結節点整備・駅ナカ開発に加えて低利用国鉄用地の有効活用も含めた駅及び駅周辺開発のコンセプト案を作ってください。ピサヌローク駅、チェンマイ駅、広大な低利用国鉄用地のある駅並びに在来線駅から独立した高速鉄道駅については、ケーススタディを行ってください。

通番号	当該頁項目	質問	回答
7	P. 6, 6 –(5) ピッサヌローク周辺の東西経済回廊鉄道整備	“タイ側が実施した東西経済回廊鉄道のF/S 結果”の入手方法、入手時期はどのようになっておりますでしょうか？ JICA 様で入手し、英文で頂ける前提と考えて宜しいでしょうか？	入手時期は確定していませんが、JICA で英文版を入手し、調査団にお渡しする予定です。
8	P. 6, 6 –(6) 概略事業費レビュー	“Case-1: 全線開業”、“Case-2: バンコク〜ピッサヌロークの部分開業、その後、チェンマイまで開業”の2ケースで宜しいでしょうか？ （ケース毎に、設備見直し、需要、ダイヤなど全面的な見直しが必要となるため。）	原則として、ご提示いただいた 2 ケースでお願いします。ただし、調査過程でタイ側の要望によりピッサヌローク以南で区切る可能性がある点、ご了承下さい。
9	P. 12, (1) 路線計画の詳細検討 （質問番号 11 参照）	必要に応じて測量調査および地質調査を実施し、線路平面図及び縦断図を作成するという考え方で宜しいでしょうか？この場合、見積をどのように計上しておけば宜しいでしょうか？	タイ側が実施した F/S 結果を前提に、追加で必要と考えられる調査を提案の上、見積を計上して下さい。
10	P. 12, (4) 法制度･建設基準の検討	“建設基準(Major Rules)の検討を行う”とございますが、本来建設基準を整備するだけで1つの案件となるくらい大きなタスクであると考えます。 建設基準としてどの程度を想定しているのか明らかにして頂けますでしょうか？	タイの鉄道に関する技術基準や法制度について調査し、本事業のために必要となる建設基準を提案いただく、というものです。
11	P. 13, (5) 自然条件調査 ①環境アセスメント調査（測量調査） ②地形調査（測量調査） ③地質調査	①環境アセスメント調査（測量調査）： EIA の測量調査は、どのような想定でしょうか？ ②地形調査（測量調査）： タイ側 F/S で収集されたデータに加え、必要に応じてステージ 2 調査で実施することで宜しいでしょうか。この場合、見積をどのように計上しておけば宜しいでしょうか？ ③地質調査： 必要に応じてステージ 2 調査で実施することで宜しいでし	いずれも、タイ側が実施した F/S で取得したデータの他に、追加で必要と考えられる調査分を提案の上、見積を計上して下さい。

通番号	当該頁項目	質問	回答
		ょうか。この場合、見積をどのように計上しておけば宜しいでしょうか？ 上記について、ご意見があればご教示願います。	
12	P. 14 / P. 15 (9), (11) および (12) 事業実施スケジュールの作成 コンサルティング･サービスの実施計画案の策定 事業実施に当たっての留意事項の整理	タイ F/S によると、事業実施は EPC 契約 (Design & Build) を想定し、入札書類を作成しているとのことですが、本事業を円借款事業として実施する場合、‘Design & Build による Contractor の調達 ” ではなく、“ コンサルティング･サービスにて詳細設計を行い、Construction (Build) を行う Contractor を調達 ” という基本方針で宜しいでしょうか？	土木工事ついては、ご理解のとおり、コンサルティング･サービスによる詳細設計と施工業者による施工の分離発注を基本方針とします。
13	配布資料① Minutes of Discussion Annex-1 P. 5 Ⅵ Undertakings of OTP and other organizations concerned (6) suitable office space	当調査における団員数は、日本人および現地傭人合わせて 30 名程度になると想定しております。 よって、事務所賃貸料を見積りに計上させて頂いて宜しいでしょうか？	事務所賃貸料を見積で計上してください。

以　上